

「お茶で琵琶湖を美しく。」・
「お茶で日本を美しく。」プロジェクト

活動場所

- ・ 位置……………日本各地の森林や里山
- ・ フィールドタイプ……湖・湿地



琵琶湖のヨシ刈り活動

活動の目的

2008年、「お茶で、日本一大きな湖、琵琶湖をきれいな湖として守りたい」という思いから「琵琶湖環境保全活動」を始め、以後毎年継続して実施するとともに、2010年からは、琵琶湖に続き、日本の各地域の水資源の保全や生物多様性保全等を目的に、日本全国に活動を拡げ、「お茶で琵琶湖を美しく。」活動の経験を生かした「お茶で日本を美しく。」活動を開始した。

活動の内容

1. 「お茶で琵琶湖を美しく。」プロジェクト
 - (1)対象：琵琶湖の水環境・水文化特に水質保全・水源涵養。
 - (2)内容：①寄付活動として、関西地区の「お〜いお茶」飲料商品売上の一部を「琵琶湖環境保全活動」費用として寄付。
②ヨシ栽培等によりヨシ原を保全し、社員・一般ボランティアによるヨシ刈り等によりヨシ帯の維持管理を行う。
2. 「お茶で日本を美しく。」プロジェクト
 - (1)対象：水資源の保全や生物多様性の保全・再生を重視した自然環境保全活動。
 - (2)内容：①「寄付対象と保全活動の一体化」を重視して逐次全国に拡大し、「お〜いお茶」飲料商品売上の一部を日本各地の環境保全・整備活動に寄付。主な地域は「北海道霧多布湿原」、「栃木奥日光清流清湖」等。
②社員が各地の環境保全活動・整備活動に参加。



「お茶で日本を美しく。」プロジェクトロゴマーク



奥日光湯ノ湖の保全活動

今後の展望

引き続き「お茶で琵琶湖を美しく。」・「お茶で日本を美しく。」プロジェクトを通じて日本各地の環境を守り、「地域づくり」「人づくり」に貢献する。また社会・環境と経営の一体化を担う社員の人づくりを進める。

一言コメント

当社は石川県・福井県両知事提唱のイニシアティブに発起人企業として参加させていただいています。地域密着型活動を続け、「人と人のつながり」を重視し、原料調達、製造、販売、消費のプロセスにおいて、湖沼・河川をふくむ里山環境の保全に努めるとともに、社会・環境との「共有価値の創造」を目指していきます。

実施体制

自治体、NPO等と連携して実施